

筑紫女学園報

REPORT No. 104

2023 FEBRUARY
令和5(2023)年2月28日

Special Issue

大学 [筑紫女学園大学 教育最前線TOPICS]

100分授業がスタート！

- 中学校・高等学校／福岡大学理学部体験教室
九州工業大学大学院情報工学研究院と連携協定締結
全国高校駅伝大会報告・ホームページリニューアル
- 幼稚園／絵本贈呈式
- 寄付情報
- 卒業生インタビュー
- 公開講座・履修証明プログラム
- 中期計画「筑女プラン2023」進捗ご報告
- 筑紫女学園のSNS
- 法海(こころに響くことば)

その教育 しなやかで、ゆるぎない。
学校法人 筑紫女学園

<https://www.chikushi.ac.jp>

筑紫女学園



2023年春より

100分

筑紫女学園大学は、学生の学びを“能動化”し、成長
その取り組みの1つが授業時間の改編。一木順教授と宮原牧子准教授に、授業時間



一木 順 (いちき まさし)
筑紫女学園大学 現代社会学部
現代社会学科 教授
現代社会学部学部長 兼 統合教育センター長

宮原 牧子 (みやはら まきこ)
筑紫女学園大学 文学部
英語学科 准教授
キャリア支援部長

90分から100分への変化が 「能動的」な学びをもたらす

一木: 2023年春、筑紫女学園大学は授業時間を1コマ90分から100分に拡大します。大学の授業は学期ごとの時間数が決まっています、これまでは前期と後期それぞれ90分×15週となっていました。ところが、近年は正課の学びに加えて正課外の活動の選択肢も増えて、学生たちは決められた期間で多くの活動に参加できるように時間を繰り合わせている状況でした。そこでこれまでの総授業時間数を確保しつつ学年暦にゆとりを持たせられるように、1コマ100分の年間28

週に変更する結論に至りました。

宮原: 本来、大学生活って自分で忙しくしようと思えばどれだけでも忙しくすることができる、つまり充実度を上げることができるんですよ。でも、昔ほど夏休みや春休みが長くないので、その期間で充実度を上げることが難しくなっていました。今回、100分授業が導入されることで長期休暇の期間が2週間ほど延びるのも私は非常に良い変化だと思うんです。その間に海外研修に挑戦したりインターシップに行ったりと、自分自身が学びたいことのためにしっかりと時間を割けるようになる、つまり、能動的な時間の使い方を後押しすることができそうです。

一木: 「能動的」というのは、今回の教育改革における重要なキーワードですね。授業時間が90分から100分が変わることで、1コマあたりの充実度も変わり、今後はグループワークやプレゼンテーション、ディスカッションをする時間に充てられることも考えられます。長期的には、実社会との接点を持ちながら学ぶ課題解決型学習やフィールドワークもより盛んになるでしょう。受動的に講義を聞く座学ももちろん大切ですが、自分の頭や体を使って能動的に動くことで知識の定着度は飛躍的に上がりますし、他者と意見や視点を交換することは非常に大きな刺激となりますから、これからが楽しみです。

授業がスタート!

と自己実現へのさらなる後押しをしています。

の拡大がもたらす変化と期待される効果について話していただきました。

授業内容の充実は 課外活動の幅も広げる

宮原:私は英語文学を教えています。100分授業になれば、座学に加えて、詩を読んで感じたことをみんなで話し合ったり、グループで意見交換をしたり、それぞれで訳したものを照らし合わせたりといった活動をもっと取り入れられると思います。こうした授業がさらに増えると、学生たちに良い刺激を与えられるし、きっと興味や関心の幅がグッと広がるのではと考えます。

一木:筑女は正課の学びと正課外での活動を結びつけながら実践的に学ぶ「実践教育」を大切にしています。100分授業によって、さらに筑女らしい教育を実現できるでしょうから、大いに期待したいですね。



宮原:はい。正課授業が充実していくと、今度は自分の関心がある方向性を見つけたり、正課外で挑戦したいことに取り組むチャンスが増えたりと、学生たちが内に秘めている可能性がどんどん広がっていくことも期待できていると思います。大学としても、そこをしっかりとサポートして実践教育を後押ししていきたいですね。

一木:学生が視野を広げ、世界に飛び出していけるように学ぶ楽しさを伝えることこそが大学の役目です。宮原先生がおっしゃった正課外の活動——例えばインターンシップや海外研修、ボランティアなどによって、その点が促進されることは非常に喜ばしいですね。どん

なに真剣に授業を聞いていても、やはり実践的に生かさないとなかなか身につかないものです。筑女では、課外活動を単位化する動きを強めている最中ですから、学生には積極的に外の世界に出てほしいですね。そして、こういった情報はポータルサイトの「ユニバ」(5ページ参照)にも掲載されていますから、見逃さずにチェックして、どんどん活用してほしいと思います。

学生のニーズを汲み取り 充実した課外活動を強化

宮原:先ほど一木先生がおっしゃった課外活動の強化について、少しお話してもいいですか？

一木:ええ、ぜひ。

宮原:まずはインターンシップです。現在は提携先などの増加に取り組んでいるところで、2023年春からは「社長の『かばん持ち』」といって、学生が福岡の中小企業の社長さんと行動を共にして経営者の視点やビジネスの現場を学ぶという新しいタイプのインターンシップを始める予定です。

一木:経営者とじっくり話ができるなんて、学生たちにとって非常に良い機会ですね。

宮原:厳しいインターンシップだと思います。けれども、もちろん事前研修で参加学生の皆さんをしっかりサポートします。これも1単位取れるプログラムになる予定です。また、海外研修については奨学金でサポートをするなど、学生のニーズを汲み取った体制も整えています。

一木:近年のコロナ禍での海外研修は、難しいものがありましたね。

宮原:はい。コロナ禍で現地に行くことが叶わなかった学生にはオンラインでの留学を実施したこともありました。例えば、2週間のオンライン研修でフィリピンの現地学生とつながり、社会問題について考える研修プログラムでは、対面以上に積極的な意思表示が必要な

分、とても集中してオンライン研修に臨めたと話をする参加学生もいました。幸いなことに2022年度はコロナによる制限が和らぎ、コロナ禍前の8割となる126名が海外に飛び出しています。今後も学生たちの学ぶ機会が損なわれないよう、あらゆる方法を考えていきたいと思っています。

一木:心強いですね。

宮原:ありがとうございます。最後にボランティアについてですが、うれしいことに、筑女は「ボランティアをやりたい」と言う学生が多く、コロナ禍でもたくさんの方の問い合わせがあったんです。地域の方や子どもたちのためのプログラムも用意されているので、ぜひこれからもトライしてほしいですね。



学ぶ環境の整備が 学生のモチベーションにつながる

一木:課外活動も然り、本学が目指すのは大学での学びと社会活動をつなげていくことです。100分授業やそれに伴う長期休暇の延長を通し、学生たちの夢や目標に近づくためのサポートはどんどんしていきたいですね。大学は学生の可能性を広げる場所ですから、そのために必要なものは私たちが提供すべきだと思います。

宮原:本当に、そのとおりだと思います。学生たちが能動的に調べ物をしたり集まって話し合いをしたりするための場所などはこれから

さらに必要ですよ。キャンパスは学生にとって学びの場であり、暮らしの場でもありますから、学生たちが1日中大学で学び、過ごせる環境を充実させていきたいです。

一木: また、仏教教育と女子教育という筑紫らしい環境も人間的な成長には欠かせないものですから、この環境を大切にすることも私たちの役目でしょう。その中で学生には自己を実現するために、大学が提供する全てのサポートをフル活用して、積極的に行動してほしいです。



夢や目標が決まっていなくても 大学生活の中できっと見つかる

宮原: 確かに、せっかく入学したからには場所だけではなく、私たち教員など、あらゆるものを活用して学びを深めていってほしいですね。大学は、幅広い学びが得られる場所です。入学前から明確に将来の夢が決まっている人はその夢を叶えるために邁進できますし、決まっていない人こそ、大学生活の中で興味が持てる方向を探していってほしい。そういった点でも、100分授業によって授業内容が充実して学生の課外活動の時間が増えることは、あらゆる面でプラスに働くのではないかと感じています。

一木: 大学はチャンスの宝庫です。ここでさまざまな挑戦をして、自分の夢や目標を見つけしてほしい。たとえつまづいたとしても、そこから分かることもたくさんあるはず。失敗を恐れずに、何度だってトライしていいんだよ、と学生たちには伝えたいですね。

宮原: 昨今は、早いうちから目標が見つかることが善という風潮がありますが、正解は1つではないと思います。今、特に夢や目標



がないからといって、焦る必要なんてないんです。小さなきっかけが1つあるだけでもそこから可能性や世界は無限に広がりますから。

一木: 授業と課外活動によって興味がある分野を見つけたときに、ひょっとしたらそれが将来につながる可能性だって大いに考えられますからね。今はオンライン学習の機会も増えましたし、ポータルサイトなど便利なツールも充実しています。情報収集の方法も、昔より遙かにたくさんある。私たちもさらに良い環境を目指していくので、学生たちも、やりたいことに全力投球していってほしいですね。

仏教×女子教育 正課×正課外

筑女の教育

女性の社会的自立

筑紫女学園大学は、仏教の教えに基づく女子高等教育機関として“豊かな人間性”と“現代社会を生きる力”を育み、時代と共に変化する社会の中で自己を実現する女性を育成します。

仏教の教え

知識をどれだけ積み重ねても、人間として真に生きる意味を見出すことはできません。筑紫女学園大学は、“自己と向き合う場所”を提供し、仏教の人間観・世界観を通して、生きることの意味を問いかけ、現代社会のさまざまな問題を見つめ直す眼を養います。

女子教育

自己と向き合うことは、女性であることと向き合うことでもあります。筑紫女学園大学では、人間としての生き方や社会のあり方を女性の立場から学ぶことができます。志を持って自ら選んだ道を進んでいく、そのための力を育成します。



理論と実践を
社会のフィールドでの体験を通じて
結び付けます。

社会のフィールドへ出て学ぶ実践型教育

- 1 海外留学・海外研修
- 2 ボランティア活動
- 3 課題解決型学習
- 4 筑女「めざめ」シリーズ



筑紫女学園大学の魅力まとめ!



本学は「人に寄り添うひとを育てる」をコンセプトに、全ての人が自分らしく生きていける多様な社会の実現を目指し、あらゆる方面から学生の学びを支援します。「100分授業」の導入をはじめ、企業連携や地域連携、ボランティアなど、社会とつながる「実践学習」、大学生活をより一層充実させるためのポータルサイト「ユニパ」、卒業後も自分らしい人生を歩んでいくための基礎力を養うキャリア教育プログラムなど、バリエーションに富んだ支援体制を用意して、一人一人の学生をサポートしています。

実践教育

アクティブ・ラーニング及び長期休暇を利用した実践的な学びの推進

100分授業への転換はアクティブ・ラーニングの体制を整え、学生たちの学びを深める効果が期待されます。さらに、約2週間延びる長期休暇では、海外留学やインターンシップ、ボランティアなどに参加し、実践的な学びの機会を今以上に増やすことが可能となります。また、本学では「CJ DOORS」や「めざめプロジェクト」など、実践教育を推し進めるためのプログラムを数多く設けています。



サポートがあると
挑戦の第一歩が
踏み出しやすく!



CJ DOORS

社会の現場と本学のキャンパスをつなぐためのプログラムです。被災地支援や子ども食堂、海外ボランティアなど多様なプロジェクトを設けています。実社会での経験や学びから初めて得られた「気づき」は、学生の成長に一層寄与しています。



子ども食堂



フィリピン・マニラ福祉研修



筑女みつばちクラブ

筑女「めざめプロジェクト」

本学オリジナルの社会連携型学習です。参加者は、提携先企業や自治体から出される課題を解決するためのプランをチームで考え、発表します。説明会、調査・検討、中間発表、講評、ブラッシュアップ、最終審査を通し、社会で活躍する「社会人基礎力」を身につけるプロジェクトです。



太宰府SDGsプロジェクト



ロート製薬×JR九州エージェンシー

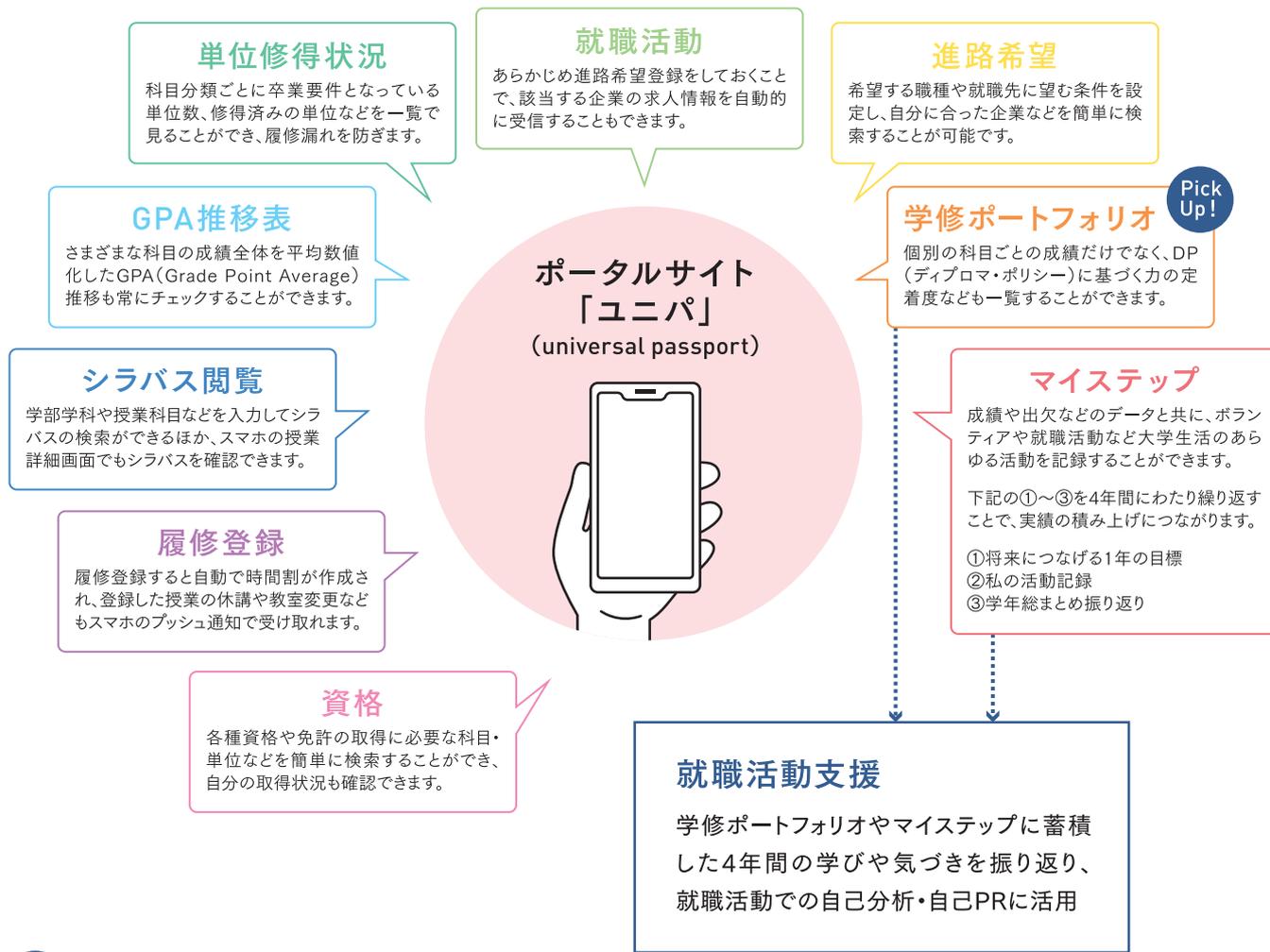


マイナビプレゼンプロジェクト

学生用ポータルサイト

大学の学びをスマホでチェック!

本学に通う学生のためのポータルサイト「ユニパ」。スマホ1つで出欠をはじめとするさまざまな登録・記録や進路情報などが検索できます。さらに、自分が大学4年間で学んだ成績や達成度も可視化できるので、卒業後の就職やキャリアアップに直結しやすくなるという利点も!

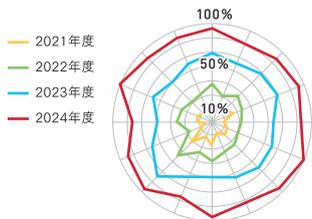


Pick Up! **学修ポートフォリオ**

身につけたい力の達成度を3つの観点で見える化

(レーダーチャート図は全て見本用に作成したものです。)

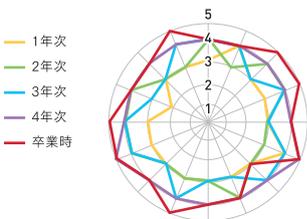
1 科目の修得に応じて蓄積される筑女DPの積み上げ



科目の修得・評価に応じた本学のDP(ディプロマ・ポリシー*)に対する習熟度を年度別にチェックできます。もっと伸ばしたい力、得意・苦手と考えている力が一目で分かり、これを次年度の履修計画に生かすことで自身の成長につながります。

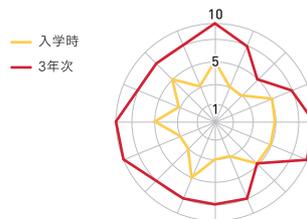
※卒業認定・学位授与の方針

2 年に1度「マイステップ」から反映筑女DP自己評価



年に1度、「1」の筑女DPの積み上げと同じ項目をマイステップで自己評価します。その結果と「1」の結果との差異を知り、他者評価と自己評価のギャップを意識することで目標に向かってより具体的な計画が立てられます。

3 問題解決力と新社会人基礎力を測る外部テストの結果



GPS-Academicという外部テストを入学直後と3年次の2回受検し、数値として判定される「問題解決力」「新・社会人基礎力」を可視化。社会で求められる「答のない課題に向き合い、解決していく力」の成長を確認することができます。

キャリア支援プログラム

就職のその先を見据えた 筑女のキャリア教育

大学卒業後も自分に合った生き方をその都度選択していける力を、1年生のうちから身につけるための「キャリア教育」を行っています。特に学んだ理論を実践的な力へ変えるために、正課内外で企業や自治体と連携し、課題を見つけ出して解決するPBL(Project Based Learning)やインターンシップなどを実施しています。また、国家資格であるキャリアコンサルタントを持った担当者の配置や、各種就活ガイダンス、先輩ゼミ等、就職支援にも力を入れています。

先輩や大学に
背中を押されて
夢を叶えるチャンス!



手厚いサポート体制

学生を守るための取り組み

コロナ禍であっても学びの機会を失わないよう、2020年4月よりオンラインでの遠隔授業を開始しました。また、通信機器を持っていない学生にはノートパソコンとWi-Fiルーターを貸与し、全ての学生の学ぶ環境を可能な限り平等に提供しています。さらに、コロナ禍の影響で経済的に困窮する学生には食糧支援も実施しました。



学習・生活環境

全ての学生に充実した環境を

学習環境を支援する施設としては、2種類の図書館を設置しています。閑静な環境でより学習に集中できる従来のタイプとグループ学習エリアやプレゼンテーションコートを備え、多様な学習環境に対応するとともに、対話が可能なくつろぎの場としても活用できるタイプの2施設を利用できます。また、憩いの場である学食では、福岡市内でイタリア料理店を営むシェフが腕を振るったおいしい料理で、学生たちの心と体の健康をサポートしています。



福岡大学理学部体験教室に参加しました

具体的な大学のイメージをつかみ、今後の進路を考えるためのキャリア教育の一環として、2022年10月22日に中学3年生全員が福岡大学を訪問し、理学部4分野(物理・化学・数学・地球)の実験体験会及び講演会に参加しました。生徒たち各々が興味のある分野の体験会に参加して、教科書には載っていない実験を実験方法から考察することで、科学的な思考の醸成や理学分野への興味・関心を広げる機会となりました。

講演会	・南極氷の泡の秘密
体験会	・ピンホールカメラとレンズ(物理) ・香りの化学実験(化学) ・ピタゴラス数の家系図(数学) ・DNAと花の紫外線照射の実験(地球)

生徒の声

質問に対してすぐ理解できるような+αの知識も教えてもらって大学に行くのが楽しみのになった。

全部楽しい実験ばかりで自分が知りたいと思ったことを追究できる大学は楽しそうだなと思った。

あまり数学が好きじゃない私でも理解できたし、計算までできるようになったから、少し自信につながった。

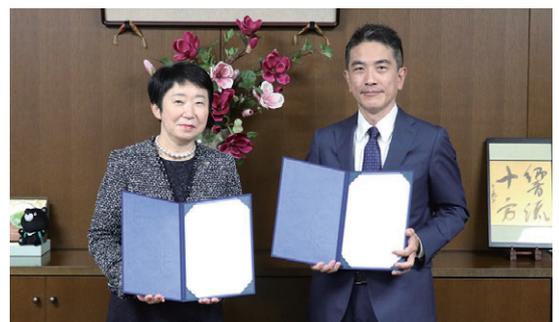
1万年前にできた氷を触ったり、溶ける音を聞けたり、貴重な体験ができました。



九州工業大学大学院情報工学研究院と連携協定を締結

2022年11月29日、中学校・高等学校は九州工業大学大学院情報工学研究院と相互の教育に係る交流・連携を図ることを目的として、連携協定を締結しました。本協定を通して、医進・サイエンスコースにおける理工系分野の教育や人材育成に多大な効果が期待されます。また、本校生徒に対する理工系分野への進学意識の向上につながり、同分野で活躍する女性の輩出に大きく貢献することも期待されます。

12月24日には、中学2年生特別プログラムとして、九州工業大学コラボ企画「IoT社会を支える半導体と、光通信の模擬体験」を実施しました。身近で使用されている半導体デバイスの話や簡単な光通信実験が行われ、最新技術に興味・関心のある生徒たちが参加しました。



高校陸上部が女子第34回全国高等学校 駅伝競走大会で7位入賞

2022年12月25日、京都市にて開催された女子第34回全国高等学校駅伝競走大会において、陸上部が7位入賞という結果を収めました。3年振りの全国大会出場となり、選手全員が初めての都大路の舞台となりましたが、一人一人が力を出し切り、襷をつなぐことができました。

たくさんのご支援とご声援をありがとうございました！

区間(距離)	走者(学年)	タイム
1区(6.0km)	松本 明莉(3年)	20分6秒
2区(4.0975km)	金森 詩絵菜(1年)	13分23秒
3区(3.0km)	有川 ひなの(2年)	10分1秒
4区(3.0km)	福山 光(2年)	9分27秒
5区(5.0km)	北野 寧々(3年)	16分21秒
7位	総合タイム	1時間9分18秒



中学校・高等学校 ホームページをリニューアル

2022年9月30日より中学校・高等学校ホームページを全面的にリニューアルしました。これまで中学校・高等学校一貫サイトと高等学校サイトの2サイトで運用しておりましたが、統合した1サイトでの運用となり、利用される全ての皆さんが閲覧しやすいデザインとページ構成になりました。今後も最新情報を随時掲載していきますので、ぜひご覧ください。



筑紫女学園大学と絵本贈呈式を実施

2022年12月16日、筑紫女学園大学と絵本贈呈式を行いました。幼稚園教諭や保育士を目指して認定絵本士養成講座を受講する筑紫女学園大学の学生より、ストーリーからデザインまで全てオリジナルで制作された3つの作品の絵本が本園に贈呈されました。贈呈式では、学生によるオリジナル絵本の読み聞かせも行われて、参加した年長児の子どもたちも真剣にお話を聞いていました。

贈呈された3つの作品「めいちゃんのおさんぽ」「うんどうかいのみみつ」「うみのおくりもの」は幼稚園の絵本コーナーに並び、クラスでの読み聞かせも行われています。園児のみんなそれぞれにお気に入りの作品ができたようです。



寄付に関する報告とお知らせ

日ごろから、本学園の教育振興のためにご支援・ご協力を賜り、深く感謝しております。

本号では令和4(2022)年1月1日～令和4(2022)年12月31日までに寄付申込みいただいた皆さまのご芳名を掲載させていただきます。

寄付(順不同)

以下のとおり、ご寄付・ご寄贈をいただきました。誌上、お礼とご報告をいたします。

●寄付金

渡辺 道子 様

金額 500,000円

(筑紫女学園の育英奨学金として)

筑女ボランティアネット

代表・栗山 俊之 様

金額 3,891,902円

(東日本大震災ボランティア研修に対する支援金として)

筑紫女学園大学 連携推進部

ボランティア活動支援センター

金額 4,960円

(筑紫女学園大学の災害ボランティア活動の支援金として)

金額 35,048円

(筑紫女学園大学のネパール復興教育支援プロジェクト支援金として)

株式会社ジック

代表取締役社長・尾崎 靖亮 様

金額 1,000,000円

(筑紫女学園大学のネパール復興教育支援プロジェクト支援金として)

筑紫女学園大学後援会 様

金額 1,000,000円

(大学の教育研究費の補助として)

金額 5,000,000円

(スクールバス運営費補助として)

金額 1,800,000円

(学生用機器備品費補助として)

金額 800,000円

(筑紫女学園高等学校陸上競技部(長距離)の全国高等学校駅伝競走大会出場の活動支援のため)

田中 孝明 様

金額 200,000円

(筑紫女学園中学校・高等学校の教育支援として)

武藤 百江 様

金額 50,000円

(筑紫女学園高等学校の教育・研究活動支援として)

金額 10,000円

(筑紫女学園高等学校陸上競技部(長距離)の全国高等学校駅伝競走大会出場の活動支援のため)

筑紫女学園後援会 様

金額 1,780,000円

(芸術鑑賞・能楽鑑賞費補助として)

金額 2,000,000円

(図書購入費補助として)

金額 1,758,718円

(部活動補助として)

筑紫女学園高等学校 筑紫会 様

金額 1,918,800円

(部活動コーチ謝礼・交通費として)

筑紫女学園中学校 筑紫会 様

金額 995,800円

(部活動コーチ謝礼・交通費として)

筑紫女学園中学校・高等学校 同窓会

精華会 様

金額 1,149,000円

(クラブ活動資金として)

金額 100,000円

(筑紫女学園高等学校陸上競技部(長距離)の全国高等学校駅伝競走大会出場の活動支援のため)

神宮 誠治 様

金額 10,000円

(筑紫女学園高等学校陸上競技部(長距離)の全国高等学校駅伝競走大会出場の活動支援のため)

金額 10,000円

(筑紫女学園高等学校陸上競技部(長距離)の全国高校駅伝出場を目指した年間活動支援のため)

中山 雅裕 様

金額 10,000円

(筑紫女学園高等学校陸上競技部(長距離)の全国高等学校駅伝競走大会出場の活動支援のため)

金額 10,000円

(筑紫女学園高等学校陸上競技部(長距離)の全国高校駅伝出場を目指した年間活動支援のため)

岡部 知寛 様

株式会社写真のトクダ 様

金額 100,000円

(筑紫女学園高等学校陸上競技部(長距離)の全国高等学校駅伝競走大会出場の活動支援のため)

三建設工業株式会社 九州支店 様

瀧本株式会社 福岡支店 様

西日本三建サービス株式会社 様

合同会社おごう 様

金額 50,000円

(筑紫女学園高等学校陸上競技部(長距離)の全国高等学校駅伝競走大会出場の活動支援のため)

森下 茂 様

金額 40,000円

(筑紫女学園高等学校陸上競技部(長距離)の全国高等学校駅伝競走大会出場の活動支援のため)

高口 秀夫 様

中村 隆元 様

株式会社アサヒファシリティズ 九州支店

執行役員支店長・仲西 康 様

株式会社KAI 代表取締役・善竹 弘幸 様

株式会社学生服センターカク 様

株式会社教育企画 様

株式会社佐電工 様

株式会社竹中工務店 九州支店 様

株式会社童夢 代表取締役・淵上 正人 様

祥文社印刷株式会社 様

金額 30,000円

(筑紫女学園高等学校陸上競技部(長距離)の全国高等学校駅伝競走大会出場の活動支援のため)

占部 美子 様

加茂 民雄 様

高口 治子 様

田代 倫子 様

谷口 博文 様

長野 大輔 様

宮崎 梅子 様

株式会社リングラツェ 様

久留米月星商事株式会社 様

金額 20,000円

(筑紫女学園高等学校陸上競技部(長距離)の全国高等学校駅伝競走大会出場の活動支援のため)

阿世知 万素子 様

荒巻 健一 様

有田 賢二 様

井原 みさを 様

大賀 素行 様

岡部 重幸 様

越智 勝秀 様

金子 瑞恵 様

北野 博識 様

清川 久美子 様

鯉川 桂之祐 様

後藤 健太郎 様

小柳 和孝 様

志岐 裕美 様

天野 義則 様

有川 正真 様

井上 博行 様

上野 祐子 様

大塚 啓 様

岡本 敦子 様

梶原 道生 様

北崎 泰之 様

木山 雅晴 様

清原 英之 様

古賀 美帆 様

後藤 安代 様

佐々木 絹香 様

島谷 律子 様

寄付に関するお問い合わせ先

学校法人筑紫女学園 法人本部事務局総務部

〒818-0192福岡県太宰府市石坂2-12-1

詳しくはホームページをご覧ください。 <https://www.chikushi.ac.jp/donation/>



TEL 092-925-9918



FAX 092-925-8319

清水 英文 様
関 宗紹 様
大東 公彦 様
田中 卓爾 様
戸江 千枝 様
中井 健雄 様
中川 正法 様
中村 泰男 様
西村 慎一 様
長谷川 裕一 様
平井 和宏 様
福田 麗 様
福山 雅太郎 様
二川 豪仁 様
松本 典久 様
三谷 久美子 様
ミラー 智子 様
山崎 明美 様
吉島 秀和 様
吉田 正治 様
吉永 幸照 様
米倉 敬子 様
株式会社Oniya 代表取締役・鬼倉 潔 様
株式会社ニモカ 様
株式会社フクト 様
株式会社ページ 代表取締役・貞末 宏治郎 様
株式会社積文館書店 中央外商部 様
株式会社冷泉閣ホテル 様
村田株式会社 福岡支店 様
work2 様

金額 10,000円

(筑紫女学園高等学校陸上競技部(長距離)の
全国高等学校駅伝競走大会出場の活動支援のため)

菅原 盛之 様
園田 護 様
竹熊 真波 様
田部 公資 様
戸江 宗浩 様
長尾 正雄 様
永田 恵子 様
西高辻 信良 様
西山 英一 様
原田 裕美子 様
平野 聖子 様
福本 博子 様
藤原 節子 様
松浦 まゆみ 様
丸山 信幸 様
光安 正直 様
安田 舞 様
山中 優子 様
吉田 文三子 様
吉田 美香 様
吉元 道子 様
米村 修一 様

井上 悠子 様

時里 奉明 様

金額 5,000円

(筑紫女学園高等学校陸上競技部(長距離)の
全国高等学校駅伝競走大会出場の活動支援のため)

株式会社クラトラスト 様

金額 500,000円

(筑紫女学園高等学校陸上競技部(長距離)の
全国高校駅伝出場を目指した年間活動支援のため)

有限会社モリシタ創建

代表取締役社長・森下 茂 様

金額 20,000円

(筑紫女学園高等学校陸上競技部(長距離)の
全国高校駅伝出場を目指した年間活動支援のため)

伊藤 はるき 様

福山 文 様

山津 昌之 様

金額 10,000円

(筑紫女学園高等学校陸上競技部(長距離)の
全国高校駅伝出場を目指した年間活動支援のため)

中村 祐翔 様

(金額非公開)

(筑紫女学園大学附属幼稚園の教育環境設備事業支援のため)

令和3年度卒園児一同

金額 205,579円

(筑紫女学園大学附属幼稚園卒業記念品のテント購入費用として)

匿名25名

金額 5,490,000円

● 寄贈

■ 学園へ

野見山 暁治 様

・絵画 1点

■ 高等学校へ

令和3年度高等学校卒業生一同

・非接触型体温計一式

令和2年度高等学校卒業生一同

・校内無線LAN機器

筑紫女学園後援会 様

・畳表

角野 千恵子 様

・硯箱(昭和14年学園記念品)

河邊 慶子 様

・茶碗 3点

日比 清信 様

・琴 一張

西嶋 由貴朗 様

・茶道具 一式

匿名1名

・茶道具 一式

■ 幼稚園へ

令和3年度卒園児一同

・プロジェクター 5台

筑紫女学園へのご支援をお考えの皆さまへ

ご寄附の用途を指定することができ、皆様のご意向に沿ったかたちでご寄附いただけます。

昨今の厳しい経済状況の折、大変恐縮ではございますが、皆様には本学園の教育活動にご理解、ご賛同いただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■ 本学園窓口及び金融機関からのお申込み

法人本部事務局総務部までお問い合わせください。

■ インターネットでのお申込み

クレジットカード、コンビニエンスストア、
Pay-easyでのお支払い方法が選択できます。

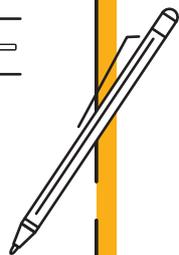
詳しくは
こちら



卒業生

インタビュー

Message
from
Graduates



未来への道を描いている皆さんの
背中を押してくれる
宝物になるような言葉の贈り物です。

こちらにロングインタビューを掲載しております
<https://www.chikushi.ac.jp/interview/>

「挑戦し続けたい」

その思いを後押ししてくれる
筑女だったから
今の自分がある。

楽天グループ株式会社

川俣 英里奈さん

筑紫女学園大学 文学部 英語メディア学科 2016年卒業



—現在のお仕事について教えてください。
楽天グループで、新卒採用や入社5年目までの若手社員の人材育成などを担当する人事の仕事をしています。自分が育成に関わった社員が伸び伸びと活躍している様子を見ると、やりがいを感じる日々です。

—大学時代の思い出を教えてください。
入学前から留学を目標にしていたので、1年次から英語の勉強に時間を費やしました。

そのかいあって2年次の9月から1年間、交換留学で西シドニー大学へ。奨学金制度が活用できたり、必要なスキルを磨く場をつくっていただいたり、大学の手厚いサポートには本当に感謝しています。また、メディアについて学ぶ吉野先生のゼミでは「震災」をテーマにしたドキュメンタリー番組を制作するなど、たくさんの貴重な経験をさせていただきました。毎日が充実していて、あっという間の4年間でしたね。

—卒業して感じる筑女の魅力は？
やりたいことをサポートしてくれる環境が整っている点ですね。私も、留学だけでなく国際交流ボランティアでリーダーを務め、海外からの留学生のためにイベントを企画するなど、多くのことに挑戦する機会に恵まれました。

—当時の学びで今に生きていることは？
今も昔も「チャレンジすること」が私のモットーです。そのチャレンジを成功させるために必要なプロセスの組み立て方は、大学時代の海外留学前後の経験から学びました。また、何事にも物怖じせずに向かっていく姿勢は、ゼミの発表などで身についたと思っています。

—今後の目標は？
これまで通り、挑戦し続けていくことです。たくさんのチャレンジの中で学んだことを周囲に還元していきたいですね。

memories



西シドニー大学での1年間の留学期間を終え、迎えた
Graduation Ceremony





留学での体験を機に
語学スクールの経営者に。
筑女で過ごした全ての時間が
今につながっている。

チャイム語学スクール代表

花田 絢子さん

筑紫女学園高等学校 2002年卒業

筑紫女学園大学 文学部 アジア文化学科 2006年卒業



—お仕事について聞かせてください。

日本企業に勤める外国人の方に日本語を教える語学スクール「チャイム語学スクール」を2011年から経営しています。ほとんどがオンラインレッスンなので、受講生は国内外からアクセスしてくれます。この仕事をスタートしたきっかけはいくつかありますが、大学時代の留学がターニングポイントでした。

—留学について教えてください。

大学3年の頃に交換留学生として、1年間、中国の北京語言大学に行きました。そのとき、現地で出会った中国人の友人に日本語を上手に教えられない自分が悔しくて、帰国後は日本語教育の授業を履修して日本語教員の資格を取得したんです。それが今につながるなんて当時は考えもしませんでした。でも、振り返ればアジアに興味を持ったのも高校の世界史の授業がきっかけだし、筑女で過ごした日々のおかげで今があると感じます。

—在学中の思い出深いエピソードがあれば。

高校時代は毎週礼拝があり、仏教の授業や法話を聞く機会がたくさんあって新鮮でした。大学では、アジア各国の宗教や文化について学んだのでさまざまな考えを知ることができました。高校も大学もいろんな性格やタイプの人でしたが、個々を尊重し合い、それぞれの目標に向かって仲良く切磋琢磨できる良い環境でした。今でもよく連絡を取り合っては昔話に花を咲かせています。



—在学生にメッセージを。

同級生はもちろんのこと、縦のつながりをぜひ大切にしてください。留学したい方は留学経験のある先輩に話を聞いたり、就職に悩んでいる方は卒業生に連絡してみたりと、積極的に学校のコネクションを活用してほしいです。もちろん私も大歓迎です！

memories



北京語言大学への留学中に訪れた北京胡同での写真

受講料無料

令和5(2023)年度 前期 筑紫女学園大学 公開講座

“ともいき(共生)”～あらゆる存在とのつながりの中で生かされていることへの目覚め～

	講座名	日時	会場	対象
公開講座	第24回仏教文化講座「経典から学ぶ」(3回) ①『維摩経』から学ぶ ②中国仏教文献から学ぶ ③『親鸞聖人御消息』から学ぶ	①6月 3日(土) ②6月10日(土) ③6月17日(土) 14:00～16:00	筑紫女学園大学	一般 / 70名
体験講座	こども工作教室 ～オリジナルのネームプレートを作ろう!～	6月17日(土) 10:00～12:00	筑紫女学園大学	児童・生徒 / 20名
公開講座	みんなで“不登校”について考えるセミナー 不登校に対する基本的理解と支援について	7月1日(土) 10:00～12:00	筑紫女学園大学	一般 / 50名
体験講座	アジア文化体験講座2023 講演とガムランワークショップ インドネシアの青銅楽器ガムランと多文化共生 第1部:講演 アジアの伝統音楽と舞踊 ①東南アジアの音楽と舞踊 ②日本の音楽舞踊にみる東南アジアとの繋がり 第2部:ガムランワークショップ	7月 8日(土) 13:00～16:00	筑紫女学園大学 飛翔会館3階 スクワーヴァティールホール	一般 / 30名

お申込み・お問合せ

筑紫女学園大学社会連携センター
〒818-0192 福岡県太宰府市石坂2丁目12-1

TEL/092(925)9685 FAX/092(925)9683
Eメール/gakushu@chikushi-u.ac.jp

お申込み方法

FAX・Eメールまたは
本学ホームページより



詳細はこちら

*お申し込みの際は、①受講希望講座名②受講日③氏名(ふりがな)④郵便番号⑤住所⑥電話番号⑦年代⑧FAX番号(FAX申込の方のみ)をご記入ください。

複数名でのお申込みの場合、参加希望者の氏名(ふりがな)もご記入ください。

*お申込みの締切りは各講座開講日1週間前までとしており、定員に達した場合も締切りとなりますのでご了承ください。

*お預かりした個人情報は適切に管理し、公開講座運営以外に使用することはありません。

今後の状況によっては変更となる場合がございますので、最新情報はホームページでご確認をお願いします。

筑女で
学び直しませんか?

履修証明プログラム

履修証明プログラムとは就労中または就労を目指している社会人女性を対象にしたリカレント教育*です。「女性のためのステップアップ・プログラム ～IT・日本語教育・ダイバーシティ～」を2021年度より開設し、社会における女性の活躍を支援しています。この履修証明プログラムは、体系的な知識・技能等の習得を目指した教育プログラムで、目的と内容に応じて総時間数60時間以上で設定されています。

※リカレント教育…社会人になってからも、学校などの教育機関に戻り、学習し、また社会へ出ていくことを生計継続することができる教育システム。

～ 修了者には、履修証明書を交付します ～

●プログラム

- ①ITスキルを高めるプログラム
- ②-1 日本語教育の基礎的な知識とスキルを身に付けるプログラム【科目等履修コース】
- ②-2 日本語教育の基礎的な知識とスキルを身に付けるプログラム【聴講コース】
- ③ 日本語教員としての知識と能力を身に付けるプログラム
- ④ 多様性が尊重される社会を作るためのプログラム



<詳しい情報はこちらをチェック>

https://www.chikushi-u.ac.jp/lifelong/recurrent_education



受講生の
声

ダイバーシティを学ぶ科目が社会人向けにパッケージ化されていて、受講のハードルがぐっと下がりました。マイノリティ当事者の方の貴重なお話を聞くことができるなど、毎回学びがあります。

働きながらさらなる技能習得を目指しています。自分の都合に合わせてられるオンデマンド授業は学びやすいです。週に1度の期限の設けられた課題提出や授業に計画的に取り組み、新鮮な気持ちで臨んでいます。



「筑女プラン2023」の進捗ご報告

令和3(2021)年度の単年度目標及び最終年度(令和4(2022)年度)の目標に対する達成状況について

本学園では5カ年の中期計画「筑女プラン2023」を平成30(2018)年6月からスタートし、令和3(2021)年度はその4年目に当たります。

前年度の令和2(2020)年度に新型コロナウイルスがまん延し、当初計画では予定していない緊急的な対応が多数求められました。

令和3(2021)年度は経済活動と感染防止対策の両立のもと、大学の教育の質保証及び教学マネジメントの確立、中学校・高等学校の教科学習の「量」から「質」への転換、中学校・高等学校及び附属幼稚園の教育環境のICT化等、優先的に取り組む事業について着実に履行しました。

令和3(2021)年度の単年度目標及び最終年度(令和4(2022)年度)の目標に対する達成状況は表のとおりとなります。

(%)

	学園全体	大学	中学校・高等学校	附属幼稚園	法人本部事務局
単年度目標に対する達成率	71.6	83.8	83.8	77.2	52.9
最終年度目標に対する達成率	73.7	79.5	79.5	77.2	67.1

【大学】●主な取り組み

①教育の質保証及び教学マネジメントの確立

- 2023年4月のスタートを目標とした新たなカリキュラムを策定しました。また、教育の質保証への取り組みについては、教学マネジメントのもと、学部長を中心に、2023年度カリキュラム策定を通じて、「3ポリシー^(※1)」及び「学部・学科等における目的」を含め、教育課程について見直しを行いました。

また、「教育の質保証」を確たるものとする上で必須となる「学修成果の可視化」について、アセスメントプラン^(※2)を確定しました。

※1…卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施、入学者受入れの方針

※2…学生の学修成果の評価について、その目的、学位プログラム共通の考え方や尺度、達成すべき質の水準及び具体的実施方法

②地域の中核となる学府へ

- 昨年度に引き続き、コロナ禍の影響により、学内外での集団活動を伴う地域や産業界との連携事業等に大きな制約が課せられました。

そのような中、太宰府市・(株)三井住友銀行・西日本鉄道(株)と連携した課題解決プロジェクトである、めざめプロジェクトにて「SDGsの視点で太宰府市を創造する」を実施しました。

また、東峰村との包括連携協定を締結し、12月にエフコープ生活協同組合との産官学連携による「東峰村マルシェ」を開催するとともに、ボランティア訪問を行いました。

【中学校・高等学校】●主な取り組み

①教育環境のICT化の推進

- 電子黒板は、2019年度に全ての普通教室に設置し、2021年度には未設置の特別教室の一つであるサイエンスラボ(旧地学教室)への設置が完了しました。また、礼拝や感謝日などの講堂における学校行事は、デジタル映像の配信環境を整備したため、生徒は各教室で視聴することが可能となりました。

加えて、個人用タブレット端末は、計画を前倒しして2021年度に全ての生徒・教職員に配付が完了しました。

②教科学習の「量」から「質」への転換

- "Teach Less, Learn More"を掲げ、かつ、生徒の進路実現に向けて、受験科目の整備や理科の学力強化を図るなどのカリキュラム改正を行いました。また学力の3要素をバランス良く育むための学習・指導方法及び評価方法などについて、教務規定、教務内規を改正しました。

【附属幼稚園】●主な取り組み

①教育環境のICT化の推進

- 全保育室に液晶プロジェクターを設置したことにより、運動会や劇の発表会、劇遊び、ミニコンサート、卒園式の練習、誕生会などの行事で積極的に活用し、保育指導を行いました。また、報恩講や涅槃会といった学校行事についても、大学宗育部の教員の法話をライブで各教室に届けることができました。

②創立50周年

- コロナ禍のため、記念式典や講演会を中止し、園児と教職員でお祝いの会を実施しました。また、スクールバスのラッピング化や液晶プロジェクターの設置、周年グッズのトートバッグやクリアファイルを作成・配布しました。

【法人本部事務局】●主な取り組み

①事務組織の見直し及び働き方改革

- 法人本部事務局及び大学の事務組織の一部を見直し、さらなる効率化・迅速化を図りました。また、働き方改革の一環として、中学校・高等学校及び附属幼稚園については業務の繁忙期と閑散期における勤務時間の調整が可能となるよう、年間の変形労働時間制を導入し、大学及び法人本部事務局では完全週休二日制を導入いたしました。このことに伴い、勤怠管理システムを改修するとともに、長時間労働の抑制に努めました。

大学

PV

This is My story.

「一人ひとりのMY STORY」

筑紫女学園大学で過ごす4年間で成長する姿を「わたし、ミラクル。」のタグラインとビジュアル表現した筑紫女学園大学のPVです。

https://youtu.be/waSL4uQ_BYk



YouTube



「Chikushi Jogakuen University 筑紫女学園大学」

入試制度の説明からイベント情報や先生たちの情熱動画まで、筑紫女学園大学について知りたい情報が詰まったチャンネルです。



<https://www.youtube.com/channel/UC7tEuk44mInz3--YDMRjzqw>

Instagram



キャンパスや近隣エリアの魅力、受験生や在学生へのお役立ち情報を発信しています。



<https://www.instagram.com/chikujo1907/>

筑紫女学園のSNS

筑紫女学園のSNSコンテンツをご覧ください

筑紫女学園では学校ごとにYouTubeチャンネルやInstagramを開設して、最新のイベントや入試情報を発信しています。

筑女の今をお届けしている各コンテンツのチャンネル登録やフォローをお願いします。

中学校
高等学校

PV

THE MESSAGE.

「The Message.」

筑紫女学園で未来を切り拓いていく自分から、未来の私へのThe Message.をテーマとした2022年度の筑紫女学園中学校・高等学校のPVです。

<https://www.youtube.com/watch?v=vOB10WA9CcY>



YouTube



「筑紫女学園スマイルC」

筑紫女学園中学校・高等学校の入試情報や学校生活、部活動、教員情報の紹介動画を公開している受験生向けのチャンネルです。



<https://www.youtube.com/@user-yt5kn3xz3u/featured>

Instagram



校内イベントや学校生活の様子を生徒目線で発信しています。



<https://www.instagram.com/chikushijogakuen/>

法海 ところに響くことば 28

春風をもって人に接す 佐藤一斎(1772-1859)

江戸時代の儒学者・佐藤一斎『言志四録』の中のことばです。このことばには続きがあり、「春風をもって人に接し、秋霜をもって自らを慎む」とあります。

春は、厳しい冬の寒さがやわらぎ、あたたかく穏やかな陽気で包み込むような優しさに満ちています。前半の「春風をもって人に接し」とは、春に吹く風のように穏やかに、和やかに人に接していきましようといっています。秋霜とは秋の冷え込んだ早朝に見られる霜を指しています。後半の「秋霜をもって自らを慎む」とは、冷たい霜のような厳しさをもち自分自身を抑制し、律しなさいということを表しています。

私たちは、他人の過失や自分に迷惑をかけられたことには敏感で、陰口や不平を言ってしまう。一方で、自分がしたこと、しなかったことをきちんと省みることをしばしば怠ってしまいます。お釈迦様は「他人の過失を見るなかれ、他人のしたことしなかったことをみるな、ただ自分のしたことしなかったことだけをみよ。『ダンマ・パダ』」とおっしゃっています。自分を省みることはとても大切なことです。しかし、自分を省みることもなく自分に厳しい人は、時に人にも厳しくすることがあります。なぜ人に厳しくなるのか、それは自分のルールを他人に押し付けるからです。そして、自分ができていることで驕る

心が生じることがあるからです。そんな自分を省みて反省するということは、苦しいものです。だから、ついつい避けてしまいます。しかし、自分の言動を省みることで、あらゆることが自分一人の力だけで成し遂げたことではなく、多くの支えがあったからだということに気づくことができます。そこに気づくことができれば、自然と他の人に接する自分の言葉遣いや行動が変わってくるのではないのでしょうか。

浄土真宗の開祖親鸞聖人(1173-1263)も自分には厳しい方でした。その厳しさの根底にあったのは、阿弥陀仏の光を仰ぎ照らされて生きる中に、徹底した自己内観(自分と向きあっていくこと)によって見つめられた自分の中にある愚かさや無力さ、人間の弱さであり、その気づきによって「あらゆるものによって生かされて生きる自分」という慚愧と感謝の人生を送られ、いつも弱い立場の方々に寄り添い朋に歩んでいかれました。

「春風をもって人に接し」にあるように、これからの春の季節、自分の言葉遣いや行動を省みる謙虚さとおかげさまの心から生まれる報恩感謝の心をもって、春風のように他者に接して和やかで穏やかな生活を心がけたいものです。